

文化協会報 せせらぎ

第36号 since 1984

平成30年1月1日 発行/東御市文化協会/Tel. 0268-75-2717/http://tomi-bunkakyukai.jp/印刷：田口印刷株式会社

文化協会変革にむけて



東御市文化協会長

庄村 茂

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にて日々積極的に活動をされておられる事と存じます。

さて、一月に発足した文化協会「組織検討委員会」では六回の会議と御代田町への研修会を行い、それらを踏まえ二回の常任理事会にて検討を重ね、文化協会の事務局業務を、特定非営利活動法人J's文化フォーラムへ移管する方向で折衝を進めてまいりました。文化協会が設立されて四十五年になります。事務局が行政から離れ自立した運営に移行されることとなります。

業務内容の引き継ぎと事務手続きについても、これから詰めていく段階にありますが、この事により、会員の皆さんの日頃の活動には特に変更や支障となることはありません。現在、文化会館を運営し地域の文化事業を推進されているJ's文化フォーラムには、当協会のホームページ業務も担って頂いています。加えて事務局業務の協力を頂けることになれば、今後の文化協会の活動もより活発に推進される事と大いに期待をしています。

平成29年度東御市文化協会総会

4月20日に東御市文化協会総会が来賓をはじめ加盟団体23部会の各グループの代表者の参加により開催されました。

新役員の報告承認においては、副会長に小池孝雄さんと依田啓子さんに、顧問に高藤俊幸さんが選任されました。

今年度の功労賞は、園芸部会会長を歴任された浅川喜人さんに贈られました。感謝状は、前会計の小林由美子さん、前幹事(広報委員)の石和敬子さん、前幹事(広報委員)の増田宣夫さんに贈られました。

報告第2号で昨年度後半より発足した東御市文化協会組織検討委員会の取り組み内容について中間報告がありました。



平成29年度 東御市文化協会役員(常任理事)名簿

会 長	副 会 長	副 会 長	幹 事 (広 報 委 員 長)	幹 事 (広 報 委 員)	幹 事 (広 報 委 員)	幹 事 (広 報 委 員)	顧 問	監 事	監 事	絵 画 部	写 真 部	書 道 部	彫 刻 部	民 謡 部	舞 踊 部	詩 吟 部	合 唱 部	華 道 部	茶 道 部	手 芸 部	工 芸 部	園 芸 部	短 詩 型 文 学 部	陶 芸 部	音 楽 部	ダ ンス 部	棋 道 部	文 芸 創 作 部	邦 楽 部	料 理 部	カ ラ オ ケ 部	教 養 部		
庄村 茂	小池 孝雄	依田 啓子	渡邊 洋子	天野泰二郎	一之瀬好子	津金 邦子	金児 充	柳沢 宗一	高藤 俊幸	小林 泉	山浦 隆子	吉川 哲也	白倉 直樹	栗原 陽子	近喰 和夫	船田 利明	小松 久子	上條 巖	赤堀 峰晴	松本 房子	一之瀬 好子	田中 富貴子	小林 俊子	南澤 富子	中山 芳祐	成澤 衛男	川上 貞子	石和 敬子	寺島 義昭	太田 光弘	山口 由美子	清水 美幸	藤勝也	成山 喜枝

平成29年を
振り返って

1月 せせらぎ第35号発行

新春書き初め大会

2月 おらほの町の音楽会

第8回彩明会会員展



3月 第13回書道部会会員展

東御市総合写真展



第38回舞踊発表会

第17回みまき絵画会作品展



4月 棋道部会

大田区との交流囲碁大会

平成29年度文化協会総会

5月

やまびこ合唱団・コールエ
コー・ムーミン合同発表会

書道部会 香東会書展

6月 コール・ライディーン
定期演奏会

東御市長杯囲碁大会



詩吟部会
聖風流東部吟道会発表会

第26回

東御市邦楽部会発表会

7月 第10回 おらほの町の音楽会



第11回 写遊とうみ写真展



第38回 民謡部会発表会
文化協会会長杯囲碁大会

8月 第22回 カラオケ部会発表会

9月 東御混声合唱団定期演奏会

役員研修旅行

10月 第21回

ちいさなちいさな写真展



11月 第67回 東御美術会会員展

第14回 東御市

総合文化フェスティバル

P6・P7に掲載

第14回 東御市短詩型文学祭

TNSジャズオーケストラ
第34回 定期演奏会



12月 第14回 東御市合唱祭

グループ紹介

自分らしい作陶、気長に楽しむ

陶芸部会 クラブ器 成澤 衛男

クラブ器は、2010年度の生涯学習陶芸教室の仲間6名が、山崎先生ご指導のもとで結成したグループです。今年で8年目となります。

当初6名いた仲間は年々高齢となり、今は4名やめられて、70代の二人で続けております。

3年前

から、先輩クラブの「炎群」三名の皆さんと、一緒に活動しております。炎群も同様、年々仲間が減



少しており一緒にやりましようと言うことになりました。

月2回、朝10時から午後4時まで全員の都合の良い日を合わせて、いつも全員出席で楽しくやっております。朝全員が揃うと先ず、お茶を飲みながらの楽しい会話から始まります。話が弾むと作業は手につかない、そんな気心のわかった仲間です。

作陶作業が始まると、皆真剣です。個性がそのまま作品になるのが、陶芸の面白さだと思います。最近、自作の茶碗、器、花瓶等を使つての日常生活に潤いを感じます。生涯学習による仲間作りと、その継続は、歳を重ねるとともに、大切だと思えます。

「知る」楽しむ

ひだまりパソコンクラブ 田澤 智子

私たち「ひだまりパソコンクラブ」は全員、生涯学習の卒業生でパソコンの楽しさ奥深さを知り、もつともつと知りたい!という意欲にあふれた方達ばかりです。

市内には文化活動をしているグループが一七〇グループあります。各グループそれぞれ積極的に活動しています。あなたも趣味をいかしてエンジョイしてみませんか。グループについての問い合わせは文化協会事務局へ(電話 0268-75-2717 東御市中央公民館 文化財・文化振興係)

年々人数も増え、現在は4教室あり、それぞれ月2回のペースで開催しています。

「あせらず」「ゆっくり」「なんどでも」「ていねいに」をモットーにご案内しております。

メンバーのみなさんにも恵まれ、和気あいあいとした温かい雰囲気の中、あつという間に時間が過ぎてしまいます。見学大歓迎です。よろしくお願



茜の会の活動

柳澤 正子

茜の会は今から十余年前に発足し現在の会員は十名です。

いつもやさしい春原先生の御指導のもと、家で採れた花の種、苗等を持ち寄り分け合ったり、育て方の情報交換をしたりして毎回和やかな時間を過ごしています。年に一回は会員の親睦も兼ね研修旅行で遠出します。今年は五月に群馬方面のつつじ、赤城自然園を散策し楽しみました。ちなみに昨年は静岡県のクレマチスの丘、広大な公園を視察、感激一入でした。



また近いところで音楽村のラベンダーの香りやバラの香りに包まれたり、たまには会員の方のお庭を拝見したりと地味ではありますが、野山や庭の花等を愛で元氣や嬉しい気持ちを保っています。

シャーロック・ホームズと親しむ会

会員 太田 光弘

平成13年から活動している本会は現在会員8名。

イギリス人作家コナン・ドイルが作り出した探偵シャーロック・ホームズと友人のワトスン博士が活躍する物語は全部で60編（長編4編、短編56編）。これを毎月1回の例会で1編ずつ発表者を決めて読み進めています。発表者の発表内容には一切制限なし。担当した物語の粗筋の説明ばかりでなくホームズの、ワトスンの、あるいは登場人物のひとつとなり注目するもの、ホームズの推理に疑問を挟むもの、当時の通信事情、交通事情あるいは世界情勢に言及するものなど内容は様々です。かつて一度は読んだことのあるホームズ物語、いま改めて読み返すと益々興味津々。ホームズやワトスン博士は旧知の友人のようです。



素の自分を出せる空間

現代詩・牧笛の会 村山 弘子

私たち現代

詩の会は、各月の土曜に作品を出し合い酒井力先生ご指導のもとで学び合っています。素直に自分の心を見つめ書いた作品を読み合う時は、少しばかり勇気がいられます。でも、その中で自然と硬い殻に閉じ込めていた自分の心の奥が、ふっと開けていき、語り合えるようになる時を持てるのが、とても幸せです。素の自分を出せる空間である現代詩の会の仲間に出会えたことに感謝しています。



総合文化 フェスティバル

11月18日、19日に第14回
東御市総合文化フェスティバル
が中央公民館全館で開催さ
れました。
約1,000点以上の作品等が集
まり、文化の薫る秋に彩りを
添えました。



お茶をいただくって緊張するね！



こころに染み入る書の魅力



たくさんの花と彩りのフラワーアレンジメント



女性の心を誘う手芸コーナー



心の中に思いをめぐらす1枚の写真



心の栄養・オーストラリアのホームステイ報告記



ひょうたんではありません。カボチャです



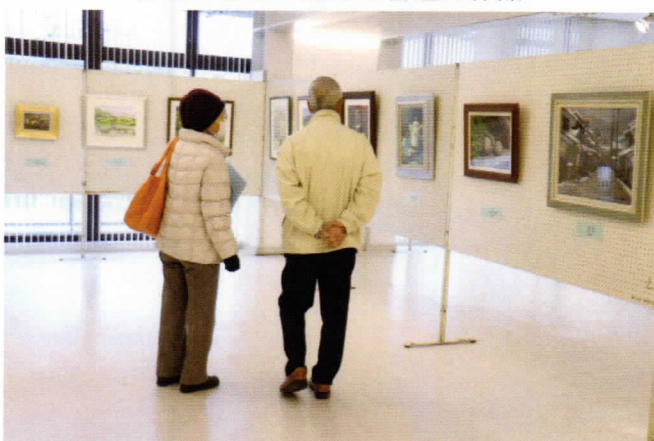
心なごむ硝子の変身スタンドグラス



作者の心理が見える書道の作品



花の個性を生かす日本伝統の生け花(華道)



絵をとおして画家の思いを感じる絵画



木片に魂をふきこむ彫刻作品



小さな紙片と根気勝負のちぎり絵



作品から子供たちの成長が伺えます



心に懐かしさをいざなう藤工芸

東御市教育委員会の組織変更 と文化協会事務局について

東御市文化協会事務局 堀田雄二

現在、東御市の文化・スポーツの振興について、さらに強力・迅速に推進するため、東御市教育委員会の事務の一部を市長部に移管するための準備を進めております。

今のところ、新年度当初から生涯学習課の一部の業務を市長部に移管することに伴い、東御市文化協会事務局は社会教育と公民館の業務を担当する係が担うことになる予定です。したがって、生涯学習課文化財・文化振興係が事務局を担当したのは四年間で終了し、また五年前の体制に戻るものとなる見込みです。

昨年度から組織検討委員会を立ち上げ、事務局業務の大部分をJ's文化フオーラムへ移管することが方向付けられました。市役所の組織変更に伴い担当係が変更になり、文化協会の役員・常任理事をはじめ、会員の皆様には、担当が毎年のように変わってしまい、多大なるご迷惑をおかけして申し訳ございませんが、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

岐阜県飛騨市

文化協会との交流会

岐阜県飛騨市文化協会の研修旅行で東御市文化協会との交流会をしたことと申し出があり、10月8日(日)に19名をお迎えして実施されました。

双方の文化協会の概要説明のあと、質疑応答が、予定時間を超えて活発に行われました。飛騨市文化協会は、健全な事務局運営が協会内ですで行なわれていました。また、地理的条件から本部の傘下に4支部3部会制をとらざるを得ない環境に置かれていました。その中での課題として少子高齢化による会員の減少・会員の高齢化を抱えているとのこと。また、

財源と行政との関係では、飛騨市の方が東御市より補助が多いが公民館等の利用料は一部を除き基本有料と



なっていて減免なしと言うことで、どちらが良いものかなどの質疑応答が交わされました。

縄文文化を尖石^{とがりいし}で学ぶ



9月27日、文化協会役員及び常任理事による研修旅行が行なわれました。今回の研修の目玉は尖石遺跡。尖石遺跡の出土品をはじめ、我が国最初の縄文時代の国宝「土偶」(縄文のビーナス)と国宝「土偶」(仮面の女神)など、八ヶ岳山麓の縄文遺跡から発掘された2000点余りの考古資料が展示されている尖石縄文考古

館で縄文時代の生活・文化を学びました。また、茅野市・放浪美術館で、山下清の障害を持って生まれ戦中戦後を生き抜いてきた生涯を学び、清独自の技法やすぐれた描写力の作品に触れてきました。今回の研修は説明員による解説が付き、より理解が深まり、もう一度家族を連れて来たいと言う思いに駆られる充実した一日でした。

編集後記

組織検討委員会で文化協会の事務局移管(自立)の検討が進められている中で、広報委員会の活動も当然のことながら事務局に頼らない体制が求められています。この会報の編集につきましても独自に進めなければならなくなります。そのため、スケジュールや委員会資料などを委員会内で作成、データベース化して自立体制の準備をすすめ、同時に紙面内容も文化協会の活動紹介を多く掲載できる構成にリニューアルしました。

広報委員 天野泰二郎(舞踊部会)

一之瀬好子(茶道部会)

津金 邦子(写真部会)

金児 充(音楽部会)

柳沢 宗一(合唱部会)